

## 第12回広陵町ごみ処理町民会議 議事概要

開催日時 平成28年6月30日（木曜日） 午後3時30分～  
開催場所 クリーンセンター広陵 3階 研修室大

- 鍵谷会長挨拶
- 副町長挨拶

- (1) 第10回、第11回の議事概要について
- (2) 副会長選出
- (3) 広陵町ごみ処理町民会議設置規程の改正
- (4) 前回からの進捗状況
- (5) ごみ処理広域化に伴う広陵町ごみ中継施設の比較検討（案）
- (6) ごみ中継施設候補地（案）

### 以下議事概要

○室長（小原） ただ今より第12回ごみ処理町民会議を始めさせていただきます。今日は早朝より、生駒市、田原本町の中継施設にご参加いただきありがとうございました。事務局の紹介は朝のバスの中でしておりますので割愛させていただきます。なお幹事会ですが今日は視察が有り時間の都合上省略させていただきます。それでは会議を始めさせていただきます。お手元の資料、次第に沿って進めさせていただきます。鍵谷会長ご挨拶をお願いします。

○会長（鍵谷） 今日は皆さん大変お疲れのことと思います。一日中勉強ししていただきまして、やはりごみ問題はさることながら、現場を見るということが一番重要なことと思っています。やはりそこで疑問も出てまいりますし、思ったことも、ないことも出

ますし、そういう意味では大変参考になったかなと思います。時間の関係で質疑応答、途中で切りましたけれども、後で事務局の方へメモでも渡して下さい。後で文書で回答しする形が良いのではないかと思います。時間の方が押しておりますが、皆さんが一堂に集まってくれてますのでごみ町民会議を開催させていただきます。お疲れのことと思っておりますがもうしばらくご辛抱願います。

○副町長（中尾） 皆様お疲れ様でございます。早朝からハードスケジュールとなりましたが、今日生駒市と田原本町を見せていただきましたが、これからの広陵町の施設の参考にしていけたらと思うわけですので、これからも他施設があれば勉強をしたいと思っておりますのでどうぞよろしく願いいたします。

### **協議事項（１）第１０回、第１１回の議事概要について**

○事務局 第１０回の議事概要は前回の会議で報告済み。今回までに修正のある分は、連絡いただき訂正しておりますので、この内容でホームページに掲載します。第１１回の議事概要ですが、平成２８年２月２４日に開かれた会議の概要を説明。

### **協議事項（２）副会長の選出について**

○事務局 前回、中川副会長が退任されたことに伴う、委員からの選出。青木委員を推薦の声があり青木委員に決定。

### **協議事項（３）広陵町ごみ処理町民会議の設置規程の改正**

○事務局 前回の会議において、「今後の取り組み」を説明した中で、ごみ処理施設は天理市での広域処理に参加することが決まり、町民会議において中継施設の建設候補地の選定と現施設の跡地利用の検討をする旨の意見をいただいたおり、今回それに伴う規程の改正を説明。

### **協議事項（４）前回からの進捗状況**

○事務局 平成２８年４月１日付けで山辺・県北西部広域環境衛生組合設立など他環境アセスメント等の業務委託契約を報告。

### **協議事項（５）ごみ処理広域化に伴う広陵町ごみ中継施設の比較検討（案）について**

### **協議事項（６）ごみ中継施設候補地（案）について一括報告**

#### **○事務局**

（５）ごみ処理広域化に伴う広陵町ごみ中継施設の比較検討について  
添付資料の確認をさせていただきます。

資料３ですが、別図（積み替え・運搬方法の図）、資料３－１が２枚３－２ A 3版と資料４です。資料は揃っていますでしょうか。

次に資料の流れですが、別図で積み替え方法を見ていただいた上で、３－１ NO 1、NO2、中継施設の建設費及び積み替え設備方式の比較をしています。

3-2で比較して採用した方式で、新しく建設した場合と現施設を利用した場合の概算費、比較検討(案)の資料です。

次の資料4は新しく中継施設の候補地(案)でございます。

それでは一括して説明させていただき、その後質問をいただきます。別図の方ですが、上の図は今日朝から視察をしていただいた、生駒市のコンパクト・コンテナ方式です。この方式は収集したごみを上のピットに投入し、下側でコンテナに圧縮しながら詰め込んだ後、アームロール車に載せて運搬する方式です。

下の図は午後からの田原本町のダストドラム方式で、図では上からピットに投入する図になっていますが、田原本町のように掘り込み式ピットにし、コンベヤで上に上げてドラムから送り出しパッカー車で運搬します。計画ではダストドラムを2系列方式で考えています。

資料3-1は、ごみ中継施設建設費及び積み替え方式の比較検討(案)で2ページにわたり数字が並んでおり、少々見づらいかと思いますが、要点のみの比較金額を説明させていただきます。単位は千円です。

積算に当たり、建築設備費等はメーカーから概算見積もりをもらい、造成費などは中継施設建設自治体の工事費を参考に概算費を算出しています。

まず、新たに施設建設する場合の前提条件1~5ですが、1ではその日に収集した可燃ごみはその日に処理運搬することになりますので、現クリーンセンターに4月持込分のデータで平日で最も多かった月曜日、火曜日の量で、1日の処理能力45t/日として想定し設備規模を算出しています。4~5は広陵から天理市施設までの運搬距離と往復の時間です。

3-1で、先に2方式の比較した上で、どちらの方式がコスト的に安価なのかを比較しました。

両方式の概算費比較ですが、赤字がコンパクト・コンテナ方式、青地がダストドラム方式です。まず、イニシャルコストですが、A=2,170,000千円-B1,930,000千円でコンパクト・コンテナ方式の方が、建築費・プラント費合わせて①合計では240,000千円高くなっております。

コンパクト・コンテナ方式はごみを上からの投入する方法となり、建物が2階建てとなり、プラントでは高圧縮機設備となるので建築・設備費とも高くなっております。

②は各方式の造成費・建築費・設備機器等の内訳で③では各方式で概算費に含まれていない項目です。

④は各方式のメリット・デメリット掲げております。

次のNO2⑤小計は運搬車両のイニシャルコスト合計で17,000千円青のダストドラム方式が高くなっております。

次に10年間での人件費及び運搬経費等にかかる、比較ですが、⑥小計で35,009千円が高くなります。

⑦の運搬車両費と10年間の運転経費小計で52,009千円ダストドラム方式が高くなっております。

⑧の初期建設費と10年間の維持費のトータルコストでは187,991千円ダストドラム方式の方が安くなります。やはり初期の建設費が高いためです。

次の⑨の欄、長寿命化を迎える30年間で計算してもトータルコスト100,973千円、ダストドラム方式が安くなることから、この方式を採用し次資料の概算費を算出しました。

次のA3版の資料3-2中継施設比較検討(案)ですが、赤字の新規に中継施設を設置した場合と青字の現施設を利用した場合とをダストドラム方式で比較してみました。

①の可燃ごみ、イは平成26年度の年間処理量です。ロは平日最大44.7tで、ハの年末年始では60トンを超えています。

②のイ、設備規模ですが平日で最も多い量、日処理量45トンとして算出しました。ロの(新設)の敷地面積ですが、約10,000㎡必要となり、ハの建物面積、約4,000㎡(積み替え施設とリサイクル貯留施設、事務所、車庫など内容で平屋建てです。)

青字は現施設の敷地と建物面積です。

③の条件等ですが、天理市広域施設への運搬は名阪道路経由で大型10t車となっています。建設に際し施設の都市計画決定は不要となっています。田原本町と同じです。ハの補助ですが、国からの直接補助はありませんが、起債償還時に交付税として22.5%、県の奈良モデルとして13.1%が交付されます。

次の課題ですが、新設の場合約10,000㎡の一団の土地が必要で用地の確保、承諾に時間を要し、また、運搬に大型車両を使用するため幹線道路沿い付近となります。現施設利用継続するに際しては、協定地区と協議が必要となります。

次の④概算工事費比較検討ですが、先ほど比較したダストドラム方式2系列で概算費を算出しました。赤字の(新設)では、建築・設備等合計は19億3千万円で内補助額を引きますと13億10,560千円となります。

青字の現施設を利用した場合ですと、現施設プラント停止前に仮積み替え施設を設置し、停止と同時に仮の積み替え施設を使い、ごみを搬出します。その間に本積み替え施設の設置と現、RDF・炭化炉設備機の撤去を行い、本工事完了後に仮積み替え施設も撤去する工事内容です。

その合計額は、7億9千万円で内補助が1億35,280千円で差し引き額、6億54,720千円となり、概算比較額6億55,840千円、現施設利用の方が負担軽減になるとの結果になりました。

新設にはこの他、施設用地費や進入路工事、建築基礎杭費用など含まれておりませんので、まだ費用が嵩む事になります。

次の資料4のごみ中継施設建設候補地域（案）ですが、前回の会議で候補地3カ所ほど提示せよとの意見がありましたので、今回提示させていただきました。

図をご覧くださいますと、赤丸の斜線が候補地として4カ所ほど選定しております。

選定につきましては、4つの選定条件を付けて、お示しさせていただきました。

1. 協定にある現施設協定地区を除いたところ。赤枠で示しております。
2. 密集住宅地や学校など教育施設が近くにないところ。

茶色で塗っているのが保育所、幼稚園、学校です。車両が増えることなど交通安全面を考慮しています。

3. 大型車両で運搬するため幹線道路沿いであること。黄色の線が幹線道路です。
4. 候補地は敷地が約10,000㎡の一団の土地で、進入道路工事など過大な工事負担がかからない所を赤枠の斜線で示しています。

運搬経路については県道桜井田原本王寺線を通り、京奈和道路三宅IC～名阪道路天理東で降りるルートと名阪道路法隆寺ICを通り天理東で降りる2ルートを示しております。いずれにせよ、比較しコストの安いルートを選択します。

以上、町内、北、中、南方面4カ所ほど、4条件を基準に設置するならばこのような場所になるだろうとお示しさせていただきました。

あくまでも案でございますので取扱につきましては、ご注意ください。

以上で説明を終わります。

→○会 長 前回の会議の宿題としてまず方式を決めないといけない、今日視察した圧縮方式とドラム方式、比較は2系列ですが、新に新設し土地を確保して建設した場合とあるいは現施設はごみ処理施設ではないということで現施設を利用した場合とで、比較検討してもらいました。また、特徴的なことも説明してもらいました。念のため他の建設費とどこが変わるか、国の方ではごみ処理施設を作る場合いくつかの条件が出て参ります。学校とか近くには作らないとか、色んな条件がありまして交付税対象とか決まってきます。そのようなことで候補地も具体的に難しいところですが挙げてもらいました。これにつきまして色々意見があるかと思いますが、一つお聞きしたいと思います。私からで良いですか。

今日2カ所見てきました。専門家の目から見るとどちらかという古いのと最新のが入っております。田原本はまだ動いていないのでどこまで分かるかしれませんが、二つに絞った以上、故障とかトラブルのそういう可能性というかメーカーに聞いても言えませんが、それはどんなトラブル、小さいトラブルとかその辺しっかりチェックしておく必要があるという気がしました。これが私の見た感じですが、今日、視察しながら、ここに当てはめて見た場合、どんなとこ注意すべきか、色んな意見があるかと思えます。今からお伺いしたいと思います、時間の関係上端的にお願いします。

○委 員（公募） コンパクト方式とダストドラム方式の比較表の中で、コンテナは5

年間毎に入替をしているが、パッカー車では30年持たないと思うが。コンテナ方式はアームロール車2台とドラム方式ではパッカー車3台となっているがその辺の比較が抜けているのではないか。

→○参 与 今の質問ですが3-1 N02の⑤を見ていただきますと、コンパクト方式ですとアームロール車が2台計上しています。1台19,000千円します。1日45t処理するとなればコンテナ4台必要です。ドラム方式では10tパッカーが3台必要で1台25,000千円です。次に⑥のところで10年間のランニングコストを出しております。委員から質問のメンテですが、コンテナは5年に一度交換します。1台5,000千円で、パッカー車の方は次の30年間のコストで10年毎に交換しており、30年では2回交換しています。アームロール車も2回交換します。ここではそのような積算をしております。

→○会 長 どこに書いてますか。

→○参 与 この資料では書いておりませんが積算根拠でバック資料として持っております。資料が多くなりますので添付しておりません。

○委 員（公募） パッカー車10年は持たないと思います。経験上、限度は6年と思っています。5年やから1年余裕あるという考えもあるが10年は持たないと思います。別にけちを付けているのではなく、過去の経験上お話をしている。長く持たそうと思うとすごいテクニックが必要となります。

→○会 長 10年の根拠は何ですか。

→○参 与 別に根拠は無いが、10年サイクルとして積算をしています。

○委 員（公募） 今の説明はパッカー車は収集の方ではないんでしょう。事務局説明は天理に行く方でしょう。扱いも違うでしょう。

→○参 与 こちらも細かなところ、専門的ではないので今後、アームロール車やパッカー車が何年持つのか又、パッカー車の車体と圧縮部分が切り離しできるのかもメーカーにも確認をしながら提示させていただきます。

→○会 長 その辺、又確認をしておいてください。

→○参 与 天理市との協議でまだ、受入が大型車のパッカーなのか、コンテナ型の上から投入し蓋をする車両でも良いのか、パッカー車でなければならないのかが、まだ決まっていないので具体的決まってくれば提示しながら、基本的にはその日に処理をするので臭気とか問題なければ安価な車両方式で検討できると思います。

○委 員（公募） ここで出しているダストドラム方式田原本の方式ですが、プラント代3億8千万円ですか。田原本の設備の説明では、2千5百万～3千万円とか言っていたがどう違うんですか。

→○参 与 私もあまりにも安いと思いました。この設備は新明和工業さんですと、聞きますと1億5千万円ぐらいと聞いております。田原本は処理は日量7tです。こちらは45tですので、ドラムもホッパー・コンベヤーも大きくしなければなりません。ダストドラムも1系列では処理できませんので、ダストドラムを2系列にしてパッカー車2台で受ければ可能であると聞いております。設備費ですが1億5千万円かかっていると聞いておりますので、田原本町の倍少しはかかるとのことで、3億8千万円上げております。

○委員(公募) 田原本さんの金額はあまり当てにはならないということですね。それで比較してダストドラム方式でということなんですけど、他にこの施設はごみ処理施設ではないと圧縮も粉碎もしないということで、それで設定には影響与えているのか。

→○参与 この施設につきましては県廃棄物対策課とも協議をしました。田原本町が同じ方式でしたので、都市計画決定も要らないと、廃棄物清掃法での基準にも当てはまらないということです。廃掃法施行令5条の焼却施設ではないなどで知事への届け出は要らないこと、ペットボトルとか圧縮とか粗大ごみを破砕しているとかで、ただの積み替え施設であるということで普通の公の建物施設であるとの扱いになっています。

○委員(公募) そうすると新設の場合、資料に比較ありましたね、そうすれば県への届け出は要らないと、簡単な積み替え施設でごみ処理施設ではないと、そうしたところでも田原本町みたいに隣に反対の看板を立てられて、誰が見てもごみ処理施設ですね。果たして、今提示してくれた所の可能性ですが、資料の方はただ単に丸をただけですか。

→○参与 候補地の選定に当たりましては、神経を使ったところでして、どのように提示しようか迷ったところでした。まずは天理市に持って行く場合の条件を整理した上で1万㎡の土地が確保できる場所を幹線道路沿いの数カ所を北、中、南方面で選ばせていただきました。他にも候補地があるではないかと言われればあります。田原本町の場合、計画決定をしなかったから反対があったのか、都市計画決定をしても反対はあるわけですし、やはり丁寧な説明をしながら進めていくと、振り返りますとこの施設を建てるときも反対の看板が立てられたわけでごさいます、都市計画決定する場合にも審議会でも慎重に協議していただきまして、承諾を得ることが必要と考えています。

○委員(公募) この比較で、そんなにコストが高つくとは数億違うが、操業が終わってここで使う場合、別に圧縮が良いとは言ってませんが、デメリットではドラムの方が大量のごみに対応できないと書いてますが、余裕のあった方が良いのではないかと。もうすぐ方式をどちらかにするか決めるのか。ゆっくり決まるのか。

→○参与 施設を見ていただくのは生駒市の方式か田原本町の方式かしか無かったので、比べるために見ていただいて、もっと他にも簡単な方式がありまして、ここで続ける場合臭気対策できれば、直接投入するとか方式があります。今日は勉強会ですので比較提示させていただきました。他自治体ではどんなやり方でしているのかなど資料を集めて次回、資料として提示させていただきます。

→○会長 できればお願いします。私の方から、先ほど2千5百円というのは、ダストドラム1個の値段ではなかったですか。

→○参与 田原本ですね。コンベアも含まれていたとか？

○委員(公募) 2千5百万円から3千万円で受入ホッパーも込みだと言っていましたね。

→○会長 コンベアについてはメーカーは言っていないけど、自治体が言った話で、そんなに安くないわけで、仕様書発注は性能さえ出れば良いと、設計発注は設計通りにそのまま作れば良いとなっているわけで、その通り作って動かない場合がある。通常はごみ処理施設とか造成関係は性能発注で、今回も性能発注ですので土木関係とかプラント関係とかメーカーもはっきり金額を出してこない場合がある。私も今まで調べていま

すと、焼却の場合プラントの方が全体の3割5分から4割占めている。建築が3割5分から4割で、残り土木工事が2割～3割となっている。そのような感じでいつも見ている。今回、9億円ですと4割ですと3億円～3億5千万円ぐらいがプラントかな。造成と土木とは違うのでその辺使い分けてほしいのですが。

→○参 与 資料3-1の②の設備機器概算内訳のダストドラム方式のところ、プラント工事費3億8千万円の内訳は、ホッパ1基、供給装置1基、搬送コンベア2基、ダストドラム2基、集じん脱臭設備1式、ごみ計量器1式、電気計装工事1式、運搬据付調整工事1式までが設備機器3億8千万円で、残りが建築・外構工事費、造成工事費等1式です。造成費については坪約50万円を出しております。

○委 員（議会） 平成35年度が天理市で稼動と想定しているが、遅れる可能性もある、方式ですが他にも方式があるんやと説明あったが、比較の中で他にもっと安くつく方式があるかもしれない。それと同時に平成35年度には稼動する、町でもいつまでにリレーセンターを稼動しなければならないと、時期が分かるはずである逆算するとリミットがあるわけですし、その辺きっちりを出していただいて進めていかなければならない。新設となればとんでもない行程があるわけで、きっちり出してからやっていくべきです。その辺整理してください。

→○室 長 事務局として今回お示ししていませんが、今回は中継施設としてこのような物だと見学してもらったわけですし、次回9月にはどのようなスケジュールで進めていくかをお示しさせていただいて会議をさせていただきます。

○委 員（地元） 青木委員とダブるところがありますが、先ほどコンテナ方式とダストドラム方式と以外にもコンテナに直接投入する方式があるとの説明でしたが、その中で受入側の方針がまだ決まっていないとの説明がありましたので、その辺どこら辺まで可能なのか、確かめてもらってそれから決定して行ってもらうと、今比較書を出してもらっていますが、他にも安い方法があればそれも可能かなと、そこで逆算してもらって早く場所を決めてもらいたい。

→○参 与 ありがとうございます。受入に関しましてその点、毎月1回天理市において会議があり質問もしております。28年度で天理市の方でごみ処理基本計画を発注しましたので、これから運搬方法など天理市の方で決めて行きます。それに併せて搬出側もどのような車両で運搬するか決めていかなければなりません。それと広陵町は可燃ごみと資源ごみ、紙・布類除いて全て天理市の方に処理しないで運搬することで協議を進めています。資源ごみもどのように運ぶのかもまだ決まっておきませんので、都度、決まれば当会議に報告させていただきます。

○委 員（公募） 今日いただいた資料で、まだ精査していないので分からないところがあるけど、資料3-1というのは両方の方式、新設で比較しているんですね、設備費3億8千万円と現施設利用した場合、地元としてはいやなんですけど、プラント設備3億8千万円かかると、素人考えですけど内訳のところ、ごみ計量器現施設そこにありますね。使用すればコストダウンしますね。もう少し内容を細かく精査してもらいたい。

○委 員（地元） この予算書を見せてもらったら明らかにこの施設を使わなければ具合が悪いようになっていますが、値段が安いからこの施設ありきでは困りますので、この地域、広瀬、百済、古寺、中で2千人程の住民が住んでいますので、9月には各協定



区長が資料を持ち帰り大字で説明できるような形をお願いしておきます。

→○副町長 全くその通りでございます。今日提案というか初めてここでさせていただきたいと、手を上げさせていただいた訳なんですけど、もちろん地元のご理解がなければ続けさせていただけないと、第一の基本として思っております。地元とも丁寧な説明をしご理解をいただいた後、ここで続けるか、他に求めるのかを決定したいと思っております。次回には具体的にその辺をお示しお話をさせていただきたいと思っております。今日の所は案として受け取っていただければと思っております。 よろしくお願ひします。

○委員(地元) 今副町長、ここでやるとおっしゃりましたね。この前の時にはここを取っ払って公共施設に云々するとか、色んな町の役所を作るとか話を聞きましたけど、この前とはころっと変わって違う話をしておられるのではないか。ここを取っ払って箸尾、広瀬、百済、中、古寺、南郷地域の方が沢山おられます。地元皆さんに説明したいので、いやここは取っ払っておられますよと町の計画で進んでいると、4カ所の選定がされて難航すると思ひますが、我々地元は35年には新しい施設になって運営すると区の皆さんに連絡している。この前には35年にはこの施設は使わないと、聞き間違いではないか聞いております。その点はっきりしてください。

→○副町長 ここをごみ処理施設として継続すると言うことは、裁判で結論が出ておまして、ここで継続できないということは事実でございます、間違いないところです。今議論していただいているこの施設はごみ処理施設ではないと、私の言っていることが詭弁になりかもしれませんが、ごみ処理施設として処理するのではなく、単なる積み替え施設として利用させていただくことと、今日それ以外に候補地をお示しさせていただきましたので、その内の一つとしてエントリーさせていただけないかという思ひです。

○委員(地元) それは言葉の綾です。

→○副町長 町の方もまた地元の方に出向きまして、根本的なところからゆっくりお話しさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願ひしておきたいと思っております。

→○会 長 まだまだ細かいところ言えばいくらでも出てくるわけですし、今日は概要ということで、町の方から提案があったわけですし、これまでの説明と違うと施設について、中身が違うと今までは頭の中では焼却施設みたいなのが創造していたわけで、その点取扱が違うと言うことで、どれだけ地元の方々がご理解してもらえるか、というところにかかってくるわけですし、町がそのように進めていくなれば地元の方に丁寧に説明をして地元の方々に理解をしてもらうことが第一になるかと思ひます。

○委員(地元) それでですね、協定書結ぶとしても全員、印を押さなければならぬですね。協定書作るんですね。

→○副町長 そうですね、それも含めて話し合いの中で決めさせていただかなければならぬ事項だと思ひます。ここで判断するのはいかながなものかと、地元の理解を得ることを第一に思ひます。

○委員(議会) 現地で質問ができなかったもので、田原本町の地元の方からの情報では予め町が示した経費と予算で計上した予算とでは10倍違った聞いております。桁が一つ違うことでびっくりした。という話が伝わっております。よその町のことで、後でお金が違うとどんでん返しになることですから、もう少し正確な情報なのか調べてみ

ます。そういうことにならにように。

→○参 与 議会でも追加補正とかで議論されていることは承知しています。この概算費用を出すときも、見積もりなどを調べて概算しておりますが、新たに建設する場合他に用地費、幹線道路沿いですので坪約15万円にしても約3千坪ですので後4億5千万円必要となり、他建築基礎杭や進入道路費など必要となってきます。まだまだ施設に費用が嵩んでくる思います。

→○会 長 まだこれから細かなところにもなるので、算出根拠など整理しておいてください。

→○参 与 今日の資料についての根拠はございますので、整理して次回資料としてお示しさせていただきます。

→○会 長 10倍も違うとなればびっくりしますので、よろしく願いしておきます。他あるかもしれませんが、時間も押しておりますので次に行きたいと思います。事務局、その他に移ってください。

→○室 長 次回の会議ですが、9月の最終の週を予定しておりますが、皆さんいかがでしょうか。何も無ければその週でご案内させていただきます。

→○会 長 それでは9月最終の週で計画してもらいます。最後に副会長の青木委員の方からご挨拶もらいます。

→○副会長 改めまして、議会の代表としてここに出さしてもらってますので、広陵町の大きな器の中で町民皆様の税金をどのように使っていくのか、この議論に参加してもらってます。私も天理市の方に出向いていくことに自ら手を上げた責任がありますので、ごみ処理施設は天理の方で受けてもらい良かったと思います。ごみ処理施設からリレー施設に変わったと、ごみ処理施設ではなくなったとこれもきっちり理解をしてもらって、当該地の皆さんのご意見もあるかと思いますが、これからは微力ですが、会長を補佐しながら頑張っていきますのでよろしくお願いします。(拍手)

→○会 長 朝から長時間に渡り熱心に視察していただき、また色んな意見を賜りました。これから進めるに当たってはいずれにしても新しいごみ中継施設を整備するに当たって今日は第一歩であると、これから事務局益々大変かと思いますが、皆さんの理解を得られるような資料を提出してもらって、資料づくりは大変ですが最後の挨拶として副町長をお願いします。

→○副町長 今日は色々と早朝からハードなスケジュールで申し訳ございませんでした。議論も白熱して、これからは白熱した話になるかと思いますが、私たちも誠意を持って対応させていただきます。これから色んな話が出てくる中で活発な意見交換をよろしくお願いしたいと思います。今日はありがとうございました。

(16:30終了)